

小中連携だより

立川市立第二中学校・第二小学校・

第五小学校・南砂小学校

令和3年3月10日

[小中連携のテーマ]

主体性をもち、自ら考えて行動できる子どもを育む連携活動

今年度はコロナ感染症対策として、予定していた多くの取組が中止となりました。その中でも、皆で知恵を出し合い、工夫し、できることを行ってきました。具体的な取組を紹介します。

1 社会のために ～元気な声であいさつしよう～

小中連携あいさつ運動（11月4日）立川第二中の生徒が校区の3つの小学校に出向き、小学生と一緒にあいさつ運動を行いました。各小学校には、卒業した中学一年生が訪問し、登校する児童に対して「優しく」あいさつをしてくれます。いつもと違う光景に、正門をくぐる児童は、少し照れながらも、中学生に深々とお辞儀を返します。児童・生徒の「あいさつ」を通じた心のつながりを、これからも大切にしていきたいと考えています。



第二小学校



第五小学校



南砂小学校

2 やさしい心 ～小学生と中学生の相互理解～

二中紹介・部活動体験（12月8日）第一部は、校内見学。第二部は生徒会による中学校の紹介。第三部は部活動体験です。例年、部活動体験では、運動部・文化部の活動に直接触れ、心地よい汗を流したり、会話を楽しんだりしてお互いに交流を深めています。今年度はコロナ感染症対策として、部活動体験を中止し、部活動紹介を行いました。立川第二中学校では、生徒が主体的に取り組む態度を育むことを大切にしています。当日は後輩たちの笑顔に支えられて、生き生きと活動する中学生の姿を見ることができました。



3 個を輝かせ ～よろしく！今日から友達～

選択交流授業（2月26日）3校の児童が自ら希望した教科の教室へ行き、互いに交流しながら学習を進めます。中学校の学習内容の一端に触れ、また、他校の児童と触れ合うことを通して、入学後の不安を解消するとともに、進学への意識を高めました。

